

仕様書番号	R 8 - 6 9
作成年月日	令和 8 年 9 月 3 日
作成部隊名	武山駐屯地業務隊管理科

#411南食堂屋根防水補修工事

工事名称	#411南食堂屋根防水補修工事		
図面名称	表 紙		
縮 尺	—	図面番号	1

共通仕様書

1 総 則

本仕様書は、陸上自衛隊武山駐屯地における諸工事について、共通的な必要事項を規定する。

2 適用範囲

本仕様書は、該当工事に関連する事項のみ適用する。

3 軽微な変更

現場の納まり、取合せ等のための軽微な変更は、官側の指示により行う。この場合、請負金額の増減または工期の延長はしない。また、施工に当たって当然必要と思われる事項は、官側の指示を受け受注者の責任において実施する。

4 工事材料

- (1) 工事材料はすべて新品とし、本仕様書に記載された製品又は同等品以上とする。
- (2) 材料は官側の検査を受け、合格したものを使用する。
- (3) 材料は日本工業規格(JIS)等を標準とし、これらの規格のないものについては官側の指示を受ける。
- (4) 材料置場等は、官側の指示した場所とする。

5 施工の検査

工事は、あらかじめ官側の指定した工程に達したときに検査を受け、合格後、次の工程に移る。

6 工事立会

- (1) 工事完成後、外部から目視できなくなる箇所は、官側に立会の有無を確認の上、施工する。
- (2) 仕上げの色合等は、あらかじめ見本を官側へ提出し、承諾を得る。

7 水道、電気料の使用

工事に必要とする電気、水は、受注者側が負担する。

8 後片付け

工事終了に際しては、工事現場の後片付け及び、清掃を実施する。

9 発生材の処置

金属類については、発生材調書とともに監督官の指示を受け指定された場所に、整理のうえ引き渡す。それ以外の物については、関係法令等に従い適切に処理し、マニフェストE票の写しを監督官に提出する。

10 完了検査

受注者は、本仕様書の工事を完了した場合は、速やかに官側の完了検査を受けるものとする。なお、検査結果に不合格の箇所が生じた場合は、直ちに手直しを行い、再度検査を受けるものとする。その際、手直しに関する契約工期の延長はしない。

11 物品等の返納

貸与された設計図書等は、すべて完成検査合格後、官側に返納する。

12 工事現場の管理

- (1) 工事現場への工事人、その他の出入りの管理、風紀衛生の取締り、火災、盗難、及びその他事故防止については、受注者の責任でこれを管理する。
- (2) 工事現場は、常に整理整頓及び清掃を行い安全管理に努める。
- (3) 工事現場及びその周辺にある既設構造物に損傷を及ぼさないよう十分な防護を施すこと。万一損傷を与えた場合は、請負者の負担において修復する。

工事名称	#411南食堂屋根防水補修工事		
図面名称	共通仕様書 1		
縮 尺	—	図面番号	2

13 安全管理

- (1) 工事人は、安全管理に万全を期する。
- (2) 工事場所又はその付近で作業を行うときは、表示又は見張人を置く等、安全確保に努める。
- (3) 現場代理人は、常駐とする。

14 提出書類

受注者は、契約後、速やかに官側の指示する書式に基づき必要書類を提出する。

- (1) 予定工程表
- (2) 工事日誌
- (3) 打合せ簿
- (4) 工事材料搬入報告書
- (5) 発生材調書
- (6) 施工体制台帳及び施工体系図
- (7) その他官側が指示したもの

15 工事写真

受注者は、官側の指示に従い、工事材料、工事前・中・後、工事隠ぺいとなる箇所、主要な工事段階の状況及び、その他監督官の指示した箇所の写真1部を工程順に工事写真帳（A4版）に整理し、官側に提出する。なお、工事材料は、搬入の都度、本工事に係る全数量・規格が分かるように撮影すること。

16 疑義

仕様書、設計図書等に明記なき事項又は、その内容において疑義が生じた場合は、当該箇所の工事を一時中断し、官側の指示を受けた後、再開する。

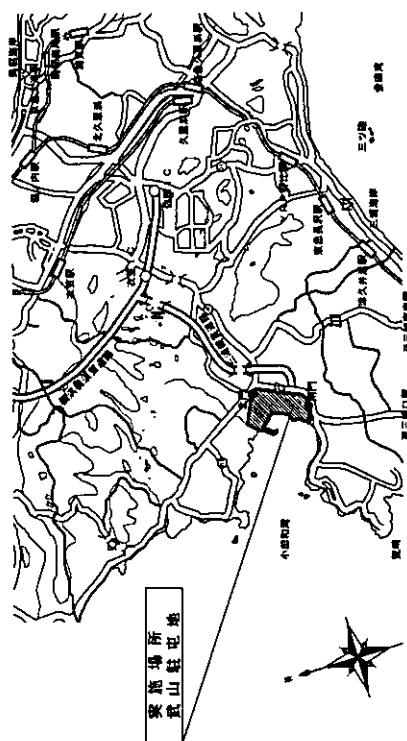
工事名称	#411南食堂屋根防水補修工事		
図面名称	共通仕様書 2		
縮 尺	—	図面番号	3

書樣仕記特

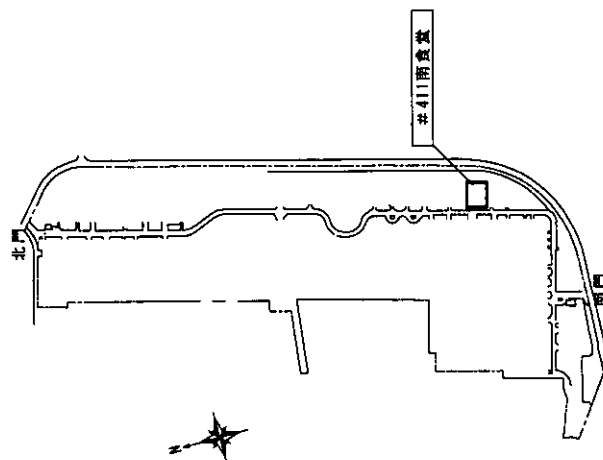
- [illegible]

5 特配仕様

草	特記事項	特記事項
1 養生 2 仮設足場 3 昇降階段 4 メッシュシート 5 倒壊防止対策	防水改修作業により、他建物及び車等へ塗料等の飛散を防止するように養生を行う。 施工対象建物周辺に仮設足場等を設置し、屋根への出入り、資材運搬等を使用する。足場の種類及び設置位置等は、現場を確認し決定する。 足場設置にあたり支障木の枝払い及び関係法令に基づき適正に処分を行う。 昇降階段は3スパン、4段とし1箇所設ける。 風荷重による倒壊を考慮し最下段のみ常時設置とする。 飛散防止対策は作業時のみ最上段に設置して養生する。 数量：324㎡ 足場控えを一定間隔ごと外部に設置する。(19箇所程度) 屋根上に鉄鋼を設置する(2.0m 4本、1.0m 3本程度)	防水補修範囲の地下ケレン滑掃を高圧洗浄機等で行う。 防水補修範囲の金属屋根ジョイント部分にシーリングを行う。 金属屋根ジョイント部分(短手)は昭テーパー100貼付け後、補修用クロス及びウレタン防水塗装を行う。 工事種別：超速硬化ウレタン防水 グリッドが密着工法(37℃)、170℃120分加熱 7.2mm 数量：500箇所 ウレタンジョイント打設 数量：86箇所 防水補修範囲のウレタン防水を行う。 (1) 各種作業において、適切な資格を有する者が作業を行うこと。 (2) 当該工事に必要な重機・機材は、すべて請負者で用意する。 (3) 別途不具合等を発見した場合は、補修及び改修等を行うための見積等を提出すること。 (4) 本工事における実作業は、12月18日までに終了させること。 (5) 竣工検査については、工事完了後検査官の確認及び提出書類の検査合格をもつて工事竣工とする。 (6) 竣工検査合格後、当該工事での新規部品及び施工上の欠陥によるとみられる不具合の発生については、請負者は、1年間その責を負うものとする。
2 屋根防水補修工事	1 下地ケレン滑掃 2 ジョイントパテ 3 ジョイント部防水 4 雪止め部補強 5 ウレタン防水 6 その他	防水補修範囲の地下ケレン滑掃を高圧洗浄機等で行う。 防水補修範囲の金属屋根ジョイント部分にシーリングを行う。 金属屋根ジョイント部分(短手)は昭テーパー100貼付け後、補修用クロス及びウレタン防水塗装を行う。 工事種別：超速硬化ウレタン防水 グリッドが密着工法(37℃)、170℃120分加熱 7.2mm 数量：500箇所 ウレタンジョイント打設 数量：86箇所 防水補修範囲のウレタン防水を行う。 (1) 各種作業において、適切な資格を有する者が作業を行うこと。 (2) 当該工事に必要な重機・機材は、すべて請負者で用意する。 (3) 別途不具合等を発見した場合は、補修及び改修等を行うための見積等を提出すること。 (4) 本工事における実作業は、12月18日までに終了させること。 (5) 竣工検査については、工事完了後検査官の確認及び提出書類の検査合格をもつて工事竣工とする。 (6) 竣工検査合格後、当該工事での新規部品及び施工上の欠陥によるとみられる不具合の発生については、請負者は、1年間その責を負うものとする。
3 産業廃棄物処分	1 運搬・処分	産業廃棄物の運搬・処分は、関係法令に基づき適正に処分を行う。 数量：混合廃棄物 4m³、ドラム缶 10本程度



案内図 $S=1:X$

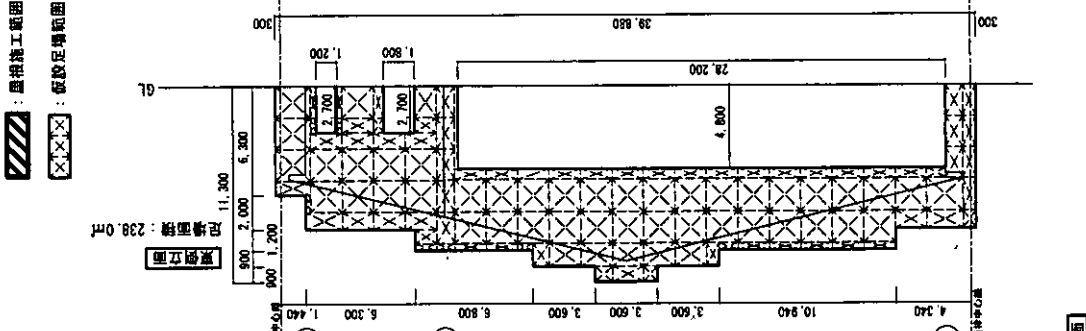
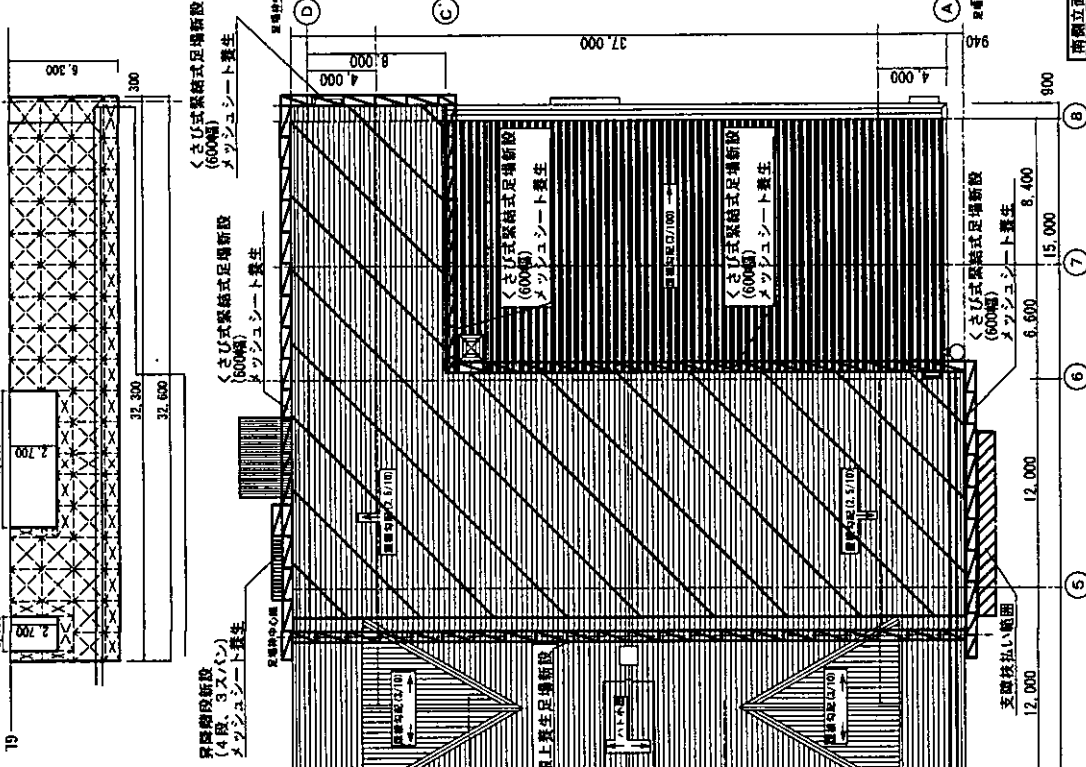
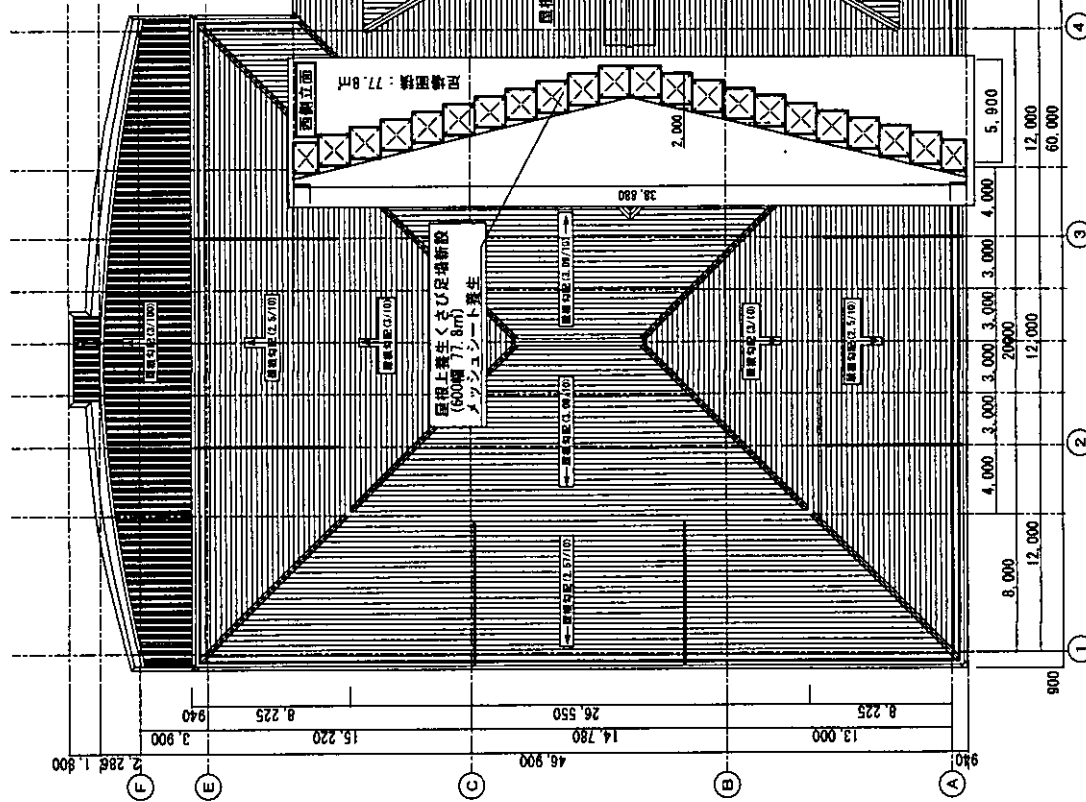


武昌駐屯地配置図 $S=1:X$

工事名称	#411南食堂屋根防水補修工事		
箇面名称	特記仕様書・案内図・配置図		
縮尺	-	図面番号	4



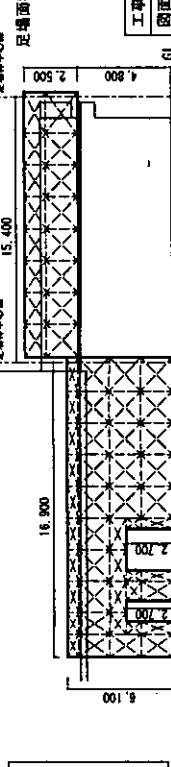
北側立面 足場面積：176.8㎡



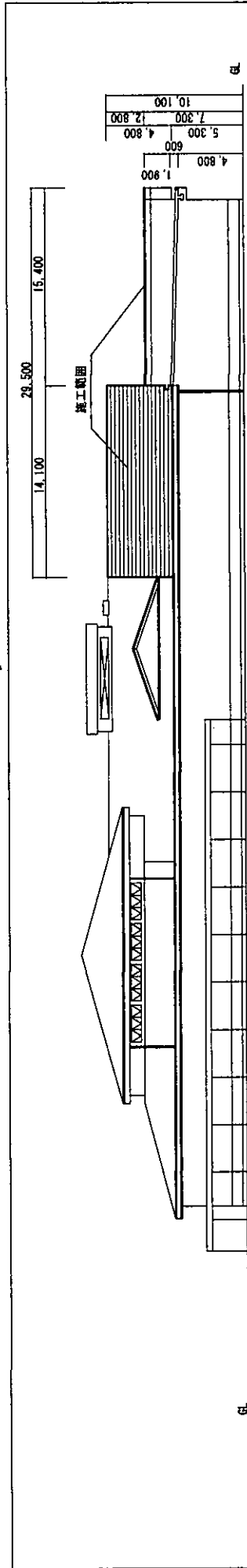
【支脚柱内訳】

材種	材数	長さ	単位
① 最大柱	40mm	2,000mm	枚数
② 最大柱	40mm	2,000mm	枚数
③ 最大柱	40mm	2,000mm	枚数
④ 最大柱	40mm	2,000mm	枚数
⑤ 最大柱	40mm	2,000mm	枚数
⑥ 最大柱	40mm	2,000mm	枚数
⑦ 最大柱	40mm	2,000mm	枚数
⑧ 最大柱	40mm	2,000mm	枚数

足場面積：131.9㎡



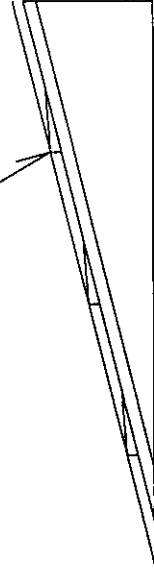
工事名称	足場工断	図面番号	5
図面名称	足場工断・仮設足場工断	縮尺	1/300



立面図 S=1/300

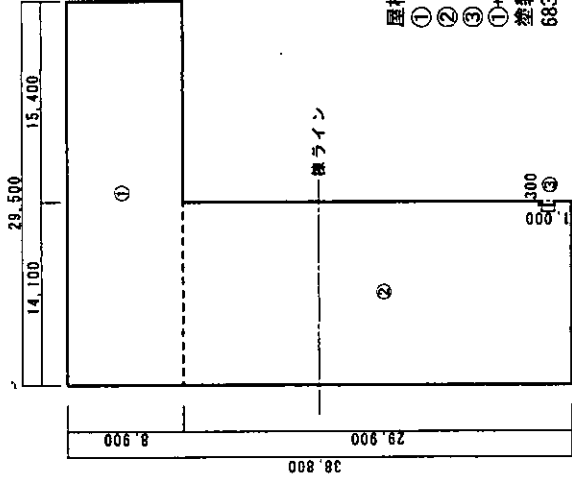
仮設足場求積

金属板厚さ $\Delta 0.4$
 アスファルトルーフィング
 木垂板 $\Delta 25$



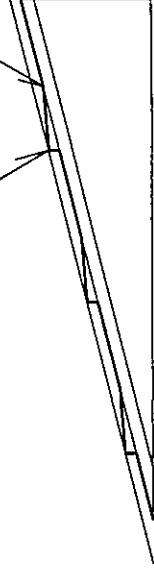
屋根断面図 (補修前) S=1/X

屋根面積計算
 ① $29.5m \times 8.9m = 262.55m^2$
 ② $14.1m \times 29.9m = 421.59m^2$
 ③ $0.3m \times 1.0m = 0.3m^2$
 ①+②+③ $683.84m^2$
 巻掛面積 (屋根面積 $\times$ 勾配及び屋根種による係数)
 $683.84m^2 \times 1.3184 = 901.6m^2$



屋根表面積求積図 S=1/400

新設 珪藻土化ケレン防水
 新設 金属板厚さ $\Delta 0.4$
 既存 アスファルトルーフィング
 既存 木垂板 $\Delta 25$



屋根断面図 (補修後) S=1/X

工事名称	#411新築金属屋根防水補修工事
図面名称	立面図・屋根断面図・求積図
縮尺	図示
図面番号	6